

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D201	コンセプトデザインⅡ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
蓬莱 彩奈		演習		
講義目的				
コンセプトデザインⅠで習得したデザイン発想プロセスの応用。過去（民族）現在（時代のムード）未来（未来的なアイデア）3つを組み合わせるクリエイティブなデザイン展開、ブランド開発の手法を学ぶ。				
授業内容				
デザイン発想システムの順を追って、デザイン発想する目的からデッサン、インスピレーションミュージズの設定、リサーチの手法、リサーチしたものをデザインへ落とし込む手法、3Dとして立体的に考える手法、ドレーピング実験、デザインマテリアル実験、デザインテクニック実験、スタイリング、リアルな着るものへと落とし込むアイテムデザイン展開。様々なデザインへのプロセスの順を追って学習。				
授業計画及び学習課題				
	内容	回	学習課題	
1	ミニコレクション 1	2	テーマ発表 テーマとアイデアブックより方向性を探る	
2	ミニコレクション 2	2	インスピレーション資料のチェックとデザイン発想実験	
3	ミニコレクション 3	2	インスピレーションミュージズの確認とシルエット決定とデザイン実験	
4	ミニコレクション 4	2	デザインアイデアテクニックの方向性 デザイン出し	
5	ミニコレクション 5	2	スタイリング デザイン展開	
6	ミニコレクション 6	2	1スタイリング決定 ワンピース テクニックの実験と素材決定	
7	ミニコレクション 7	2	2スタイリング決定 セットアップ	
8	ミニコレクション 8	2	最終デザイン決定 グループブランド準備連絡 宿題にてリサーチ	
9	グループコレクション 1	2	ブランドの方向性	
10	グループコレクション 2	2	ターゲットの分析	
11	グループコレクション 3	2	ファッション分析	
12	グループコレクション 4	2	ブランドの立案	
13	グループコレクション 5	2	トレンド分析	
14	グループコレクション 6	2	シーズンイメージ リサーチ	
15	グループコレクション 7	2	シーズンコンセプト リサーチ	
留意事項（履修条件他）				
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへと落とし込み、コレクションとして様々なデザイン展開をする。				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
様々なアイデアを1つのデザインへミックスさせて自分自身の独自のデザインを生み出す。		リサーチの重要性を学びデザインへ落とし込む。ドローイングを重ねて自らデザインできる力を自然に身につける。	作品提出 A～E 評価 ※C, D, E は不認定となる 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D202	ブランド企画 I	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
蓬莱 彩奈		演習		
講義目的				
1年で習得したデザイン発想プロセスの応用。グループブランドを立ち上げ商品展開を学ぶ。実践教育として企画から販売までを学ぶ。				
授業内容				
グループでブランドコンセプト、ターゲットの分析、トレンドの分析、シーズンコンセプトの考案、デザイン発想展開、スタイリング組み、ブランドとして必要なデザイン知識を養う。				
授業計画及び学習課題				
	内容	回	学習課題	
1	グループコレクション 8	2	シルエット/アイデア出し	
2	グループコレクション 9	2	3D アート資料のリサーチ	
3	グループコレクション 10	2	3D テクニック メインテキスタイル	
4	グループコレクション 11	2	スタイリングデザイン出し メインテキスタイル決定	
5	グループコレクション 12	2	スタイリングデザインチェックとアイテムディティールリサーチ	
6	グループコレクション 13	2	ディティールカラーズのドローイング	
7	グループコレクション 14	2	ジャケットスタイリングデザイン完成	
8	グループコレクション 15	2	アイテムデザイン展開 ディティールデザインの研究 ①	
9	グループコレクション 16	2	アイテムデザイン展開 ディティールデザインの研究 ②	
10	グループコレクション 17	2	コートスタイリングデザイン完成	
11	グループコレクション 18	2	アイテムデザイン展開 ディティールデザインの研究 ③	
12	グループコレクション 19	2	アイテムデザイン展開 ディティールデザインの研究 ④	
13	グループコレクション 20	2	ワンピーススタイリングデザイン完成	
14	グループコレクション 21	2	テキスタイルテクニク確認	
15	グループコレクション 22	2	プリント、付属、最終バランス確認	
留意事項（履修条件他）				
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへと落とし込み、コレクションとして様々なデザイン展開をする。				
教材				
最終到達目標		学習法		評価方法
ブランドの立ち上げのプロセスを実践教育で学び、一般のお客様へ販売できるデザイン、商品を作り上げる能力を身につける。		チームで作業を行いブランド立ち上げの様々なプロセスを学ぶ。		作品提出 A～E 評価 ※C, D, E は不認定となる 出席重視

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D203	コンテストドローイング	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
松本 けい子		演習		
講義目的				
自分のクリエイションを発信する基となるドローイングの表現方法を習得する。				
授業内容				
様々な技法に挑戦し、表現に幅を持たせる。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	コンテスト対策 リサーチ	各コンテストの傾向をリサーチし、対策を講じる		
2	コンテスト対策 リサーチ	各コンテストの傾向をリサーチし、対策を講じる		
3	コンテスト対策 プロポーション	デザインのイメージに合わせたボディの習得		
4	コンテスト対策 プロポーション	デザインのイメージに合わせたボディの習得		
5	コンテスト対策 省略	自身のデザインを省略画で表現する		
6	コンテスト対策 省略	自身のデザインを省略画で表現する		
7	コンテスト対策 デフォルメ	自身のデザインをデフォルメ画で表現する		
8	コンテスト対策 デフォルメ	自身のデザインをデフォルメ画で表現する		
9	コンテスト対策 表現 ①	与えられたテーマをカラージュで表現する ①		
10	コンテスト対策 表現 ①	カラージュを基にドローイングで表現する ①		
11	コンテスト対策 表現 ②	与えられたテーマをカラージュで表現する ②		
12	コンテスト対策 表現 ②	カラージュを基にドローイングで表現する ②		
13	コンテスト対策 表現 ③	与えられたテーマをカラージュで表現する ③		
14	コンテスト対策 表現 ③	カラージュを基にドローイングで表現する ③		
15	コンテスト対策 構成 ①	写真プラスデッサンで構成する		
16	コンテスト対策 構成 ①	写真プラスデッサンで構成する		
17	コンテスト対策 構成 ②	写真プラスドローイングで構成する		
18	コンテスト対策 構成 ②	写真プラスドローイングで構成する		
19	コンテスト対策 構成 ③	写真プラスオリジナル表現で構成する		
20	コンテスト対策 構成 ③	写真プラスオリジナル表現で構成する		
21	コンテスト対策 応用 ①	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ①		
22	コンテスト対策 応用 ①	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ①		
23	コンテスト対策 応用 ②	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ②		
24	コンテスト対策 応用 ②	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ②		
25	コンテスト対策 応用 ③	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ③		
26	コンテスト対策 応用 ③	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ③		
27	クロッキー ①	実際のモデルを前にして描く		
28	クロッキー ①	実際のモデルを前にして描く		
29	クロッキー ②	時間短縮でスピーディーに描く練習をする		
30	クロッキー ②	時間短縮でスピーディーに描く練習をする		
留意事項（履修条件他）				
様々な物事に興味を持って五感をフル活用し、行動を起こす。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 4 ファッションデザイン画」（文化出版局）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
コンテストに参加する。	様々な画材を使い、 現力の向上を目指す。	課題提出 提出課題でA-Eの成績をつける ※C, D, Eは不認定となる		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D203	コンテストドローイング	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
松本 けい子		演習		
講義目的				
自分のクリエイションを発信する基となるドローイングの表現方法を習得する。				
授業内容				
様々な技法に挑戦し、オリジナル表現を完成させる。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	コンテスト対策 技法 ①	様々な画材を使って表現する		
2	コンテスト対策 技法 ①	様々な画材を使って表現する		
3	コンテスト対策 技法 ②	様々な画材・素材を組み合わせる表現する		
4	コンテスト対策 技法 ②	様々な画材・素材を組み合わせる表現する		
5	コンテスト対策 技法 ③	切り画の技法を用いて表現する		
6	コンテスト対策 技法 ③	切り画の技法を用いて表現する		
7	コンテスト対策 技法 ④	ドローイングに切り画を組み入れて表現する		
8	コンテスト対策 技法 ④	ドローイングに切り画を組み入れて表現する		
9	コンテスト対策 技法 ⑤	④の技法を用いて独自のものを表現する		
10	コンテスト対策 技法 ⑤	④の技法を用いて独自のものを表現する		
11	クロッキー ①	実際のモデルを前にして描く ①		
12	クロッキー ①	実際のモデルを前にして描く ①		
13	コンテスト対策 完成 ①	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ①		
14	コンテスト対策 完成 ①	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ①		
15	コンテスト対策 完成 ②	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ②		
16	コンテスト対策 完成 ②	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ②		
17	コンテスト対策 完成 ③	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ③		
18	コンテスト対策 完成 ③	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ③		
19	コンテスト対策 完成 ④	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ④		
20	コンテスト対策 完成 ④	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ④		
21	コンテスト対策 完成 ⑤	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ⑤		
22	コンテスト対策 完成 ⑤	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ⑤		
23	コンテスト対策 応用 ①	自身のデザインを基に、イメージ描写 ①		
24	コンテスト対策 応用 ①	リアルクローズ表現への落とし込み ①		
25	コンテスト対策 応用 ②	自身のデザインを基に、イメージ描写 ②		
26	コンテスト対策 応用 ②	リアルクローズ表現への落とし込み ②		
27	クロッキー ②	実際のモデルを前にして描く ②		
28	クロッキー ②	実際のモデルを前にして描く ②		
29	コンテストドローイングのまとめ	オリジナル描写を完成させる		
30	コンテストドローイングのまとめ	オリジナル描写を完成させる		
留意事項（履修条件他）				
興味のあることには積極的に挑戦すること。また、美術館や博物館を訪れ、芸術に触れることも大切。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」(文化出版局)				
最終到達目標	学習法	評価方法		
洞察力や想像力を養う。	様々なイラストレーターの作品に触れる。様々な画材を使ってみる。	課題提出 提出課題でA-Eの成績をつける ※C, D, Eは不認定となる		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D204	パターン理論・プロダクト演習Ⅱ	1年/前期	12	必修
担当教員		科目区分		
岡村 茜		演習		
講義目的				
<p>独創的なシルエットをパターンで表現する力を身につける。 ジャケットの製図理論と服飾造形の基礎知識を学ぶ</p>				
授業内容				
<p>イベント作品の制作実習 ジャケットの製図法</p>				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	原型	10	ラグランスリーブ	
2	原型	10	フード	
3	イベント作品	10	シルエット研究	
4	イベント作品①	10	デザインワンピースのパターン作成	
5	イベント作品①	10	トワール作成	
6	イベント作品①	10	工業用パターン作成	
7	イベント作品②	10	セットアップのパターン作成	
8	イベント作品②	10	トワール作成	
9	イベント作品②	10	工業用パターンの作成	
10	ジャケット	10	テーラードカラーの4面体ジャケット製図法	
11	ジャケット	10	テーラードカラーの3面体ジャケット製図法	
12	ジャケット	10	2枚袖の製図法	
13	ジャケット	20	裏地付きジャケットの工業用パターン解説	
14	ジャケット	20	ジャケット工業用パターン作成(実習)	
15	ジャケット	20	ラグランスリーブのジャケット製図法	
留意事項(履修条件他)				
<p>イベント作品2スタイリングの完成</p>				
教材				
<p>最終到達目標</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 独創的なデザインを形にする力を身に付ける。 ジャケットの知識と理解を深める 		<p>学習法</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義 実習 		<p>評価方法</p> <p>作品提出 A~E 評価 ※C, D, E は不認定となる 出席重視</p>

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D204	パターン理論・プロダクト演習	1年/後期	12	必修
担当教員		科目区分		
三宅 憲子		演習		
講義目的				
オリジナルデザインをターゲットの求めるサイズや着心地を研究しながら商品として意識した物作りをグループで制作。				
授業内容				
イベント作品の制作 コートの作図法				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	イベント作品①	10	ジャケットのシルエットパターン作成	
2	イベント作品①	10	ジャケットのデザインパターン作成	
3	イベント作品①	10	インナーのデザインパターン作成	
4	イベント作品①	10	ボトムスのデザインパターン作成	
5	イベント作品②	10	コートのシルエットパターン作成	
6	イベント作品②	10	コートのデザインパターン作成	
7	イベント作品②	10	インナーのデザインパターン作成	
8	イベント作品②	10	ボトムスのデザインパターン作成	
9	イベント作品③	10	ワンピースのシルエットパターン作成	
10	イベント作品③	10	ワンピースのデザインパターン作成	
11	ジャケット	10	ペプラムジャケットの作図法	
12	コート	10	コート原型の作図法	
13	コート	20	ラグランコート作図法	
14	コート	20	ラグランコート工業用	
15	コート	20	トレンチコートの作図法	
留意事項（履修条件他）				
イベント作品3スタイリングを完成させる。				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
<ul style="list-style-type: none"> ベーシックアイテムの構造を理解し、応用パターンを作成する力を身につける。 コートの知識と理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 実習 	作品提出 A～E 評価 ※C, D, E は不認定となる 出席重視		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D205	サンプルメイキングⅡ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
西田 千恵子		演習		
講義目的				
伸縮素材、薄物、皮革など、特殊素材の扱い方を理解し、より高度な縫製技術を習得する。				
授業内容				
Tシャツ、薄物ブラウス、皮革素材の部分縫い（縫い代始末）などの縫製技術を学び、個人ブランドとして、サマーコレクション（2体）を制作する。 ジャケットの柄合わせ、ポケット付け、ベンツなどの縫製方法を学び、4面体ジャケットを制作する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	Tシャツ	2	ニットの扱い方、ロックミシンによる縫製	
2	Tシャツ	2	袖口、裾始末（2本針裏面飾り）	
3	薄物ブラウス	2	薄物素材の扱い方、縫い代始末（袋縫い）	
4	薄物ブラウス	2	袖ぐり（裏バイアス始末）衿ぐり（パイピング）	
5	皮革素材の部分縫い	2	皮革素材の扱い方、縫い代始末（4種）	
6	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
7	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
8	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
9	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
10	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
11	サマーコレクション（2体）	2	個人別縫製	
12	ジャケット（チェックの柄合わせ）	2	チェックの柄合わせ説明、1/4パターンで実習	
13	ジャケット（4面体、フラップポケット、ベンツ）	2	裁断、芯貼り（プレス機の使い方）	
14	ジャケット（4面体、フラップポケット、ベンツ）	2	表身頃縫い、フラップポケット	
15	ジャケット（4面体、フラップポケット、ベンツ）	2	裏身頃縫い	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
特殊素材の扱い方を習得し、サマーコレクション（2体）を制作する。	講義 課題作成	作品提出 A～E評価 ※C, D, Eは不認定となる 出席重視		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D205	サンプルメイキングⅡ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
西田 千恵子		演習		
講義目的				
重衣料を中心とした縫製技術を学び、様々なアイテムに対応できる幅広い知識と技術力を習得する。				
授業内容				
ジャケット、コート、ワンピースを、インナーやボトムと組み合わせ、3スタイリングを制作する				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	コマ数	学習課題	
1	ジャケット	2	衿付け、前端縫い	
2	ジャケット	2	袖作り、袖付け、肩パット付け	
3	ジャケット	2	ベント、裾始末、マツメ	
4	ジャケットスタイリング	2	個人別縫製（ジャケット、インナー、ボトム）	
5	ジャケットスタイリング	2	個人別縫製（ジャケット、インナー、ボトム）	
6	ジャケットスタイリング	2	個人別縫製（ジャケット、インナー、ボトム）	
7	ジャケットスタイリング	2	個人別縫製（ジャケット、インナー、ボトム）	
8	コートスタイリング	2	個人別縫製（コート、インナー、ボトム）	
9	コートスタイリング	2	個人別縫製（コート、インナー、ボトム）	
10	コートスタイリング	2	個人別縫製（コート、インナー、ボトム）	
11	コートスタイリング	2	個人別縫製（コート、インナー、ボトム）	
12	コートスタイリング	2	個人別縫製（コート、インナー、ボトム）	
13	ワンピーススタイリング	2	個人別縫製（ワンピース）	
14	ワンピーススタイリング	2	個人別縫製（ワンピース）	
15	ワンピーススタイリング	2	個人別縫製（ワンピース）	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
ジャケット、コート、ワンピースの3スタイリングを完成させる。	講義 課題作成		作品提出 A～E 評価 ※C, D, E は不認定となる 出席重視	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D206	立体裁断 I	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
真脇 郁子		演習		
講義目的				
立体裁断を通して服の成り立ちの基本理論と技術を想像表現出来るように、シルエットやデザインのバランス、量感など、立体的に見られるドレーピング手法を習得させる。				
授業内容				
ボディの考察をしながら、トワール地の扱い方からドレーピング手法までを原型と各アイテム（スカート、ブラウス、ジャケット）で実践する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	原型（スカート）	4	前後スカートのドレーピングからマーキングまで	
2	原型（スカート）	4	パターントレス後、再組み立てとトワール確認。完成パターン作成。	
3	フレアスカート	4	フレアスカートのドレーピングからマーキングまで	
4	フレアスカート	4	パターントレス後、再組み立てとトワール確認。完成パターン作成。	
5	原型（ストレートスローパー）	4	ストレートスローパーのドレーピングからマーキングまで	
6	原型（ストレートスローパー）	4	パターントレス後、再組み立てとトワール確認。	
7	原型（ストレートスローパー）	4	パターン修正後、袖のドレーピングからマーキングまで	
8	まとめ	2	これまでの総括	
留意事項（履修条件他）				
授業開始前にトワールの地直しを準備しておく				
教材				
文化服装学院編「立体裁断・基礎編」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
トワール地の目の重要性の理解とドレーピング手法からシルエットの良否判断ができる。	ドレーピング手法の手順を各アイテムでくり返し、確認と修正で理解する	完成トワール（50%） 完成パターン（50%）		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D206	立体裁断 I	2年/後期	2	必須
担当教員		科目区分		
真脇 郁子		演習		
講義目的				
立体裁断を通して服の成り立ちの基本理論と技術を想像表現出来るように、シルエットやデザインのバランス、量感など、立体的に見られるドレーピング手法を習得させる。				
授業内容				
ボディの考察をしながら、トワール地の扱い方からドレーピング手法までを原型と各アイテム（スカート、ブラウス、ジャケット）で実践する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	原型（ストレートスローパー）	4	袖の修正後、再組み立て確認。完成パターン作成。	
2	タックインブラウス	4	シャツカラー付きタックインブラウスのドレーピングからマーキングまで	
3	タックインブラウス	4	パターントレス後、再組み立てとトワール確認。	
4	タックインブラウス	4	パターン修正後、袖のドレーピングからマーキングまで。	
5	タックインブラウス	4	袖付け確認後、パターン修正。完成パターン作成。	
6	台衿シャツブラウス	4	台衿シャツカラーブラウスの見頃、衿のドレーピングからマーキングまで	
7	台衿シャツブラウス	4	パターントレス後、再組み立てトワール確認及びパターン修正	
8	台衿シャツブラウス	2	袖のドレーピングから確認、マーキング、修正後完成パターン作成。	
留意事項（履修条件他）				
授業開始前にトワールの地直しを準備しておく				
教材				
文化服装学院編「立体裁断・基礎編」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
トワール地の目の重要性の理解とドレーピング手法からシルエットの良否判断ができる。	ドレーピング手法の手順を各アイテムでくり返し、確認と修正で理解する。	完成トワール（50%） 完成パターン（50%）		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D207	マテリアルデザイン	2年/前期	1	必修
担当教員		科目区分		
大村 和子		演習		
講義目的				
一年次に習得したアパレル素材の基礎知識の理解を深め実習過程で知識を知恵に変換する事を学ぶ。				
授業内容				
オリジナルヤーン、アートヤーンの制作。 様々なテキスタイルの観察。 オリジナルテキスタイルサンプルの制作。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	糸について（紡ぐ、撚る、意匠糸など）	手紡ぎスピンドルの作り方 糸見本の観察		
2	オリジナル ヤーン、アートヤーンの制作	組成、素材、配色等吟味する		
3	織物の染色について	先染、後染、捺染、デジタル プリント		
4	織物の染色について	プリント配付、生地見本の観察		
5	プリント柄の分類	プリント配付、テキスタイル ハンドブック活用		
6	チェックとストライプ柄の名称	プリント配付		
7	チェックとストライプのサンプル制作	素材、配色等を吟味		
8	布地の風合いと用語	生地見本の観察とシートの制作		
9	テキスタイル イメージ8分類	テキスタイル ハンドブック、生地見本の観察		
10	テキスタイル イメージ8分類	マップ制作		
11	テスト	同一素材同一イメージ ワードでサンプル制作		
12	刺繍 A	イメージ ワードからのステッチ サンプル制作		
13	刺繍 B（日本刺繍）	無地感覚のステッチ 4種類 サンプル制作		
14	刺繍 C	刺繍+アップリケ、象嵌風		
15	まとめ	サンプルのファイル提出と講評		
留意事項（履修条件他）				
課題は毎回制作し終える事。基本は必ず制作し応用したものの制作は重要である。 欠席した場合は次回の授業までに課題を制作し次回の準備物は事前に確認すること。 制作したサンプルはファイルに保管しておくこと。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 閏間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
オリジナルテキスタイルを作るうえで必要な技術、発想等を様々なサンプルを制作することで習得出来る。	あらかじめ伝達した素材の準備し授業に臨む事。サンプルの見本、作品を提示する場合がある。	課題提出、テキスタイルファイル、素材準備等を総合的に評価		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D207	マテリアルデザイン	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
大村 和子		講義		
講義目的				
布地の様々な仕上げ加工の知識を習得する。そのサンプル制作する事により “素材、への感性を豊かにする。				
授業内容				
様々な布地に様々な仕上げ加工の実践をする。 基本と応用のテキスタイル サンプル制作をする。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	服地について	それぞれの季節の服地、フォーマルウェアー服地について		
2	その他の服地について	裏地、芯地、不織布 表地（服地）と裏地の色彩効果的について		
3	その他のアパレル素材について	レース、皮革、毛皮等について		
4	布地の仕上げ加工①	講義（板書、プリント配付）		
5	デニム加工 A	サンプル制作 基本と応用		
6	デニム加工 B	サンプル制作 基本と応用		
7	ボンディング加工	サンプル制作 基本と応用		
8	しわ・プリーツ加工 A	↓ （しわ加工 基本の4種類制作）		
9	しわ・プリーツ加工 B	サンプル制作 基本と応用		
10	オパール加工	サンプル制作 基本と応用		
11	縮絨加工	サンプル制作 基本と応用		
12	小テスト	同一素材同一イメージ ワードでサンプル制作		
13	オリジナル テキスタイル制作	スカーフ サイズ・仕上げ加工、刺繍、染色等で表現		
14	繊維素材等でアクセサリ制作	（例）ネックレス、コサージュ等 オブジェ制作→可		
15	まとめ テキスタイル ファイル仕上げ	プレゼンテーション		
留意事項（履修条件他）				
基本のテキスタイル サンプル制作に加えて応用制作は重要である。 サンプルの作りっぱなしは厳禁である。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 閻間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標		学習法	評価方法	
オリジナルテキスタイルを制作するうえで必要な技術、発想法、表現方法を様々なサンプル制作する過程で自ら研究しオリジナリティを高める事を到達目標とする。		各自授業内容に必要な素材を準備、段取りをして臨む事。 サンプルの“見本”、“作品”を提示する場合がある。	課題提出、テキスタイルファイル、素材準備等を総合的に評価	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D208	グラフィックデザイン	2年/前期	2	必修
担当教員 齊藤 佳孝		科目区分 演習		
講義目的				
<p>アパレル業界において広く利用されている、コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルは必須である。業界標準的に使われている「Adobe イラストレーター、フォトショップ」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。</p>				
授業内容				
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	フォトショップ基本操作 写真素材切取り	画像から不要な部分の削除の方法説明と練習		
2	コラージュによるファッションマップ作成	レイヤーを使って素材データを組み合わせる		
3	コラージュによるファッションマップ作成	画面レイアウトのポイント		
4	コラージュによるファッションマップ作成	フォントの効果的な使い方		
5	スタイル画の着色	着色・補正・シャドウハイライトの作り方		
6	スタイル画の着色	生地をスタイル画へ埋め込む方法		
7	スタイル画の着色	各自が描いたスタイル画の着色		
8	スタイル画をマップにまとめる	スタイル画のイメージに合うマップ作成		
9	コレクションポートフォリオ	マイコレクションのポートフォリオをDTPで作成する		
10	コレクションポートフォリオ	絵コンテ作成 デザインフォーマットの作成		
11	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
12	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
13	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
14	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
15	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
16	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
17	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
18	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
19	コレクションポートフォリオ	作成した作品を振り返っての考察		
20	コレクションポートフォリオ	作成した作品を振り返っての考察		
21	イラストレーター基本操作	イラストレーターとは 画面表示		
22	アイコンの作成	図形同士を型抜きや合成などに活用する		
23	アイコンの作成	ヒトの行動やモノを表すマークを作る		
24	ペンツールの使い方	アンカーとパスの理解		
25	ペンツールの使い方 トレース練習	ブランドロゴのトレースをする		
26	ペンツールの使い方 トレース練習	ブランドロゴのトレースをする		
27	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
28	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
29	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
30	イラストレータを使った表作成	作成したハンバーイラストを表にまとめる		

留意事項（履修条件他）		
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。		
教材		
最終到達目標	学習法	評価方法
Adobe イラストレーター、フォトショップを操作して、スタイル画の着色、ハンガーイラストの作成ができ、カラー、素材の違いなども効率よく表現できる。	Apple コンピューターを使用した実技	定期課題 (50%) 小課題 (50%) ※課題内容、提出等については授業内で説明

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C217	グラフィックデザイン	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
斉藤佳孝		演習		
講義目的				
<p>アパレル業界において広く利用されている、コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルは必須である。業界標準的に使われている「Adobe イラストレーター、フォトショップ」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。</p>				
授業内容				
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。学外で作品展示販売を行うことを想定し、アパレルブランドに必要なプロモーショングッズの基本的な知識と作成方法を学ぶ。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	プロモーショングッズについて	アパレルブランドのプロモーショングッズ研究		
2	プロモーショングッズについて	アパレルブランドのプロモーショングッズ研究		
3	プロモーショングッズについて	研究したものをイラストレーターにまとめる		
4	プロモーショングッズについて	研究したものをイラストレーターにまとめる		
5	ブランドマップ作成	展示販売するブランドコンセプト・ターゲットをまとめる		
6	ブランドマップ作成	展示販売するブランドコンセプト・ターゲットをまとめる		
7	プロモーショングッズ作成	ブランドロゴ作成		
8	プロモーショングッズ作成	ブランドロゴ作成		
9	プロモーショングッズ作成	キービジュアルの作成		
10	プロモーショングッズ作成	キービジュアルの作成		
11	プロモーショングッズ作成	DM 作成		
12	プロモーショングッズ作成	DM 作成		
13	プロモーショングッズ作成	名刺作成		
14	プロモーショングッズ作成	名刺作成		
15	プロモーショングッズ作成	インビテーション作成		
16	プロモーショングッズ作成	インビテーション作成		
17	プロモーショングッズ作成	タグ作成		
18	プロモーショングッズ作成	タグ作成		
19	プロモーショングッズ作成	ネットプリントについての説明		
20	プロモーショングッズ作成	入稿用データについての説明		
21	プロモーショングッズ作成	ネットプリントに入稿できる DM・名刺データの作成		
22	プロモーショングッズ作成	ネットプリントに入稿できる DM・名刺データの作成		
23	プロモーショングッズ作成	ホームページについての説明		
24	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		
25	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		
26	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		
27	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		
28	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		
29	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成		

30	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
留意事項（履修条件他）		
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。		
教材		
最終到達目標	学習法	評価方法
Adobe イラストレーター、フォトショップを操作して、アパレルブランドに必要なプロモーショングッズを作成することができるようになる。	Apple コンピューターを使用した実技	定期課題(50点) 小課題(50点) ※課題内容、提出等については授業内で説明

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D213	トレンドⅡ	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		演習		
講義目的				
社会情勢や市場からトレンドを探り、ブランド企画の授業と連携させ商品企画やプロモーションへつなげる				
授業内容				
実際にショップリサーチを行い、市場やSNSなどから最新のトレンドを分析。 収集した情報を元に商品やタグ、HPやカタログなど実際の商品企画に活用する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	市場トレンドリサーチ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS などから情報収集 ・ 競合店舗をリサーチ ・ 集めた情報を分析し商品企画へつなげる 	
2	ブランドネーム、下げ札作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレンドを反映させブランドネーム、下げ札をイラストレーターを使用し作成 ・ 販売期間に間に合うようデータを入稿する 	
3	パターン帳作成	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品を種類ごとに整理しまとめる ・ 商品のデザインポイントをまとめる ・ リサーチ情報を基に価格設定 	
留意事項（履修条件他）				
リサーチ結果を基に、ブランドネーム、下げ札、パターン帳を作成、チェックを受ける 商品搬入の期日までに各アイテムの納品を終わらせておく				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
市場やコレクションなどからトレンドをリサーチし、商品企画へ反映させる	リサーチ結果を踏まえ、実際に商品化し販売することにより、お客様や売上などから結果を分析する	作品の提出で総合評価		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
D214	ブランド知識Ⅱ	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
上山 恵加		講義		
講義目的				
各ブランドをリサーチし、プロモーションの方法や商品の見せ方を分析 分析結果を商品企画に反映させ、HP やDM、インスタグラムなどのプロモーションを作成する				
授業内容				
実際にショップリサーチを行い、市場やSNS などから最新のトレンドを分析 収集した情報を元に商品やタグ、HP やカタログなど実際の商品企画に活用する				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	プロモーションについて	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴについての定義 ・撮影方法やレイアウトについて 	
2	撮影ラフ作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影の予定表作成 ・カメラマン、モデル手配と確認 ・ラフ画のチェック 	
3	ブランドロゴ作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・商品を種類ごとに整理 ・商品のデザインポイントをまとめる ・リサーチ情報を基に価格設定 	
4	ブランドDM、名刺、HP 作成	2	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト確認 ・記載事項確認 ・撮影データ確認、選抜 	
留意事項（履修条件他）				
商品のプロモーションについて必要な知識を習得 レイアウト力やアプローチ方法を習得する				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
商品を企画し、それを用いよりブランドを効果的にプロモーションするための技術を身につける	各項目講義を実施 その知識を応用させ実際の店舗運営などで使用するHP やDM などを作成し、販促につなげていく	作品提出により総合評価的に評価		